

クマガイソウ

学名 *Cypripedium japonicum* Thunb.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)



【選定理由】

全国的に分布域は広く、県内でも多くの生育地があったが、現存する生育地は極めて少ない。植林や人による採取で、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国
生育環境	低地から低山地の林内。
現状	かつての生育地で消滅した所が極めて多い。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]

セッコク

学名 *Dendrobium moniliforme* (L.) Sw.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内各地に分布するが、個体数は少ない。森林の伐採や林道の開発、人による採取で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 豊後水道後背地域, 石灰岩地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島(南部), 中国
生育環境	丘陵地から山地の常緑広葉樹, 針葉樹, 落葉広葉樹の樹幹や林内, 岩上。
現状	常緑広葉樹, 針葉樹(モミ, ツガ), 落葉広葉樹(シオジ, ブナ)の樹幹や枝, また林内の岩上などに着生する。生育地の減少, 消滅した所が多い。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

キバナノセッコク

学名 *Dendrobium tosaense* Makino

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内での確認されている生育地は1か所。個体数も少なく、人による採取の懸念もあり、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	豊後水道後背地域
分布域	四国,九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),琉球
世界的分布	
生育環境	低地の石灰岩地域の樹木に着生。
現状	樹木の樹幹にごくわずか生育している。人目につき易い。
備考	

タシロラン

学名 *Epipogium roseum* (D. Don) Lindl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

常緑広葉樹林内に生育するが、生育地は限られ個体数も少ない。樹林の伐採や植生遷移の進行、林内の攪乱により、消失する生育地が多く、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域
分布域	本州(南関東地方),九州(福岡・長崎・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	台湾,中国(南部),インドシナ,インド,マレーシア,オーストラリア
生育環境	丘陵地林内。
現 状	生育地が固定されていなく, 生育状態に消長がみられる。キノコの栽培する槽場跡地で生育が確認されたが, 人為による攪乱ですぐに消滅した。
備 考	

カシノキラン

学名 *Gastrochilus japonicus* (Makino) Schltr.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育地は限られ、1地域でしか確認されていない。渓谷林内の樹幹に着生しているため、森林伐採や土地開発などにより絶滅の危険性が高い。

県内分布	大分川・大野川丘陵地、(豊後水道後背地域)
分布域	本州(千葉県以西)、四国、九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)、琉球
世界的分布	
生育環境	渓谷林内の樹幹に着生。
現状	「豊後水道後背地域」での記録が数か所あるが、依然生育地は確認されていない。今回確認された生育地の渓谷林は、近くの山の所有者が大切に保護している。
備考	

アキザキヤツシロラン

学名 *Gastrodia confusa* Honda et Tuyama

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は固定せず、希にみられる。腐生の多年草で、常緑樹林、竹林などを生育地とする。森林伐採や植林などによる環境の変化で、絶滅の危険性が高い。

県内分布	国東地区, 玖珠丘陵地・山地, 別府湾沿岸域, 豊後水道域, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	本州(福井・神奈川・和歌山), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地, 丘陵地の林内。
現状	「大野川上流域」でシイタケの柵木を入れてある竹林内で生育しているのを確認した。2〜3年同じ所に生えるが、腐植物がなくなると生えなくなる。
備考	

オニノヤガラ

学名 *Gastrodia elata* Bl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

ナラタケ菌と共生する無葉の腐生ラン。生育地は散在する。しばしば群生することがある。森林伐採や土地開発などのため、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	台湾, 中国
生育環境	丘陵地や低山地の草原や林縁。
現状	生育地が次々と移り変わる。生育環境の悪化に伴い, 生育地, 個体数とも減少する傾向にある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]

シロテンマ

学名 *Gastrodia elata* Blume var. *pallens* Kitagawa

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: I A(CR) 環境省: I A(CR)

NO IMAGE

[選定理由]

「英彦山・犬ヶ岳山地」の林内でわずかに生育しており、県内での分布は他には確認されていない。生育地が谷筋であり、風水害による生育環境の悪化や人の採取などにより、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の溪谷沿いの林内。
現 状	谷沿いの林内に狭い範囲にわずかに生育している。腐生植物であるため、年により生育状態に消長が見られる。
備 考	植物分類の書の多くは、オニノヤガラの変種としている。

ハルザキヤツシロラン

学名 *Gastrodia nipponica* (Honda) Tuyama

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

「豊後水道後背地域」で1か所、生育地が確認されている。常緑樹林内に生育する腐生ランで、年による生育状態の消長が激しく、環境変化や人による採取で絶滅の危険性は高い。

県内分布	豊後水道後背地域, (別府湾沿岸域)
分布域	本州(紀伊半島), 四国, 九州(大分・宮崎・鹿児島), 琉球
世界的分布	
生育環境	保存のよい低山地の林内。
現状	2004年から2005年まで、「豊後水道後背地域」には、多い年には10数本の果実をつけた個体が見られた。その後、周囲の樹木伐採により見られなくなっていたが、2010年6月、果実をつけている1株が確認された。いずれも、現在まで花は確認されていない。県内では他に「別府湾沿岸域」に、文献による記録はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	国定公園指定植物[日豊海岸]

クロヤツシロラン

学名 *Gastrodia pubilabiata* Sawa

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

無葉緑の腐生植物であり、分布域も限られており、生育地は少ない。花後、地下茎の上部から繊長無毛の地下茎を伸ばし、この上に再び有毛肥大な地下茎を作って増殖する。そのため、獣害や自然災害による生育環境の変化の影響が懸念される。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地の常緑広葉樹林内。
現 状	「別府湾沿岸域」の生育地では年々減少気味で、別の生育地でも100以上の果柄が確認された翌年には、1本の果柄も確認できなかった。
備 考	

ベニシュスラン

学名 *Goodyera biflora* (Lindl.) Hook. fil. var. *macrantha* (Maxim.) Hashimoto

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育する範囲は狭く、丘陵地や山地の林内に生え、いずれの生育地も個体数は少ない。森林伐採や風水害による生育環境の悪化や人による採取もあって、消滅する危険性が高い。

県内分布	耶馬溪地区, 津江山地, 大野川上流域
分布域	本州(中部地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島(莞島)
生育環境	丘陵地や低山地の谷沿いの林内。
現 状	谷沿いの生育地が, 森林伐採されて消滅した所がある。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

アケボノシュスラン

学名 *Goodyera foliosa* (Lindl.) Benth. var. *laevis* Finet

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育地は点在し、個体数は少ない。渓谷の開発、森林伐採などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	南千島, 朝鮮半島
生育環境	丘陵地や低山地の林内, 渓谷の周辺。
現状	出水や渓谷の開発で消失した生育地がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]

ツリシュスラン

学名 *Goodyera pendula* Maxim.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育する溪谷は極めて希で、個体数も僅少。森林伐採や人による採取で絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の谷沿いの林内。
現 状	「英彦山・犬ヶ岳山地」では、生育の可能性のある溪谷林が林道開発などで伐採されている。
備 考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]

シュスラン

学名 *Goodyera velutina* Maxim.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、個体数は少ない。森林伐採や風水害による環境変化で生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 由布・鶴見火山群, 豊後水道後背地域
分布域	本州(中部地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地から山地の林内。
現状	「由布・鶴見火山群」では, 植林伐採で消滅した所がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]

ダイサギソウ

学名 *Habenaria dentata* (Sw.) Schltr.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)



【選定理由】

県内では「大野川上流域」だけで生育地が確認され、個体数も極めて少ない。圃場整備などによる環境の変化で絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	(別府湾沿岸域), (豊後水道後背地域), 大野川上流域
分布域	本州(千葉), 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 琉球
世界的分布	台湾, 中国, インドシナ, ミャンマー, ヒマラヤ
生育環境	丘陵地水田のやや湿った草地。
現状	生育地が圃場整備にかかり, 目下, 生育環境の維持・保全を模索している。
備考	

サギソウ

学名 *Habenaria radiata* (Thunb.) Spreng.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育地は、西部地域に点在し、個体数は僅少。湿原に集まって生えるため人目につきやすく、人による採取で絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 津江山地, 由布・鶴見火山群
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の日当たりのよい湿地。
現状	「玖珠丘陵地・山地」や「由布・鶴見火山群」では、すでに消滅してしまった生育地がある。
備考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

ミズトンボ

学名 *Habenaria sagittifera* Reichb. fil.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

低地から山地までの湿地に生えるため、個体数はかなりみられるが、低地や丘陵地の生育地は、土地開発や湿地開発で生育地が減少し、消滅が懸念される。

県内分布	日田低地・丘陵地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 大分川・大野川丘陵地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地から山地の湿地。
現状	「別府湾沿岸域」の生育地は、土地開発により消滅した。
備考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

ムカゴトンボ

学名 *Hebenaria flagellifera* Makino

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)

NO IMAGE

【選定理由】

2009年に大分県の「由布・鶴見火山群」の野焼き草原で初めて生育が確認された。九州各県に生育が確認されているが、大分県では初見である。個体数が限られ、絶滅の危険性が高い。

県内分布	由布・鶴見火山群
分布域	本州(関東地方以西),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),琉球
世界的分布	
生育環境	丘陵地の疎林, 野焼き草原。
現状	草原の尾根付近に生育しているが, 野焼き停止による, 植生遷移の影響を受けやすい。
備考	

ムカゴソウ

学名 *Herminium lanceum* (Thunb.) Vuijk var. *longicrure* (Wright) Hara

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 準(NT)

NO IMAGE

【選定理由】

主として火山性高原の草原に生育する。生育地の草原は植林されたり野焼きが停止されたりして植生が遷移し、また、草原開発で生育地が減少し、絶滅の危険性は高い。

県内分布	津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道(渡島), 本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国, 中国(東北部), 朝鮮半島, インドシナ
生育環境	丘陵地から山地の草原。
現状	牧野改良で消滅した生育地がある。
備考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

ムヨウラン

学名 *Lecanorchis japonica* Bl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

よく保存された林内に生育する腐生ラン。生育地や個体数は僅少。森林伐採などの影響を受けやすく、絶滅の危険性が高い。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域, 豊後水道後背地域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の林内。
現 状	生育地は少なく, 生育状態の悪くなった所がある。
備 考	

ギボウシラン

学名 *Liparis auriculata* Bl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(由布・鶴見火山群)
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	濟州島
生育環境	丘陵地の湧水付近の水流辺や林縁。
現状	「由布・鶴見火山群」で数個体生育していたが消滅した。類似した他の地域を探したが、未だ生育地は把握されていない。
備考	国定公園指定植物[耶馬日田英彦山]

フガクスズムシソウ

学名 *Liparis fujisanensis* F.Maek.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

小形の着生ランで、県内の生育地はまれ。個体数も極めて少なく、植生遷移や人による採取などで、絶滅する危険性が高い。

県内分布	津江山地, (英彦山・犬ヶ岳山地)
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地の林内の樹上。
現状	「津江山地」で倒伏した樹幹に着生したものを発見したが、その後は、新たな生育地の確認はない。「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	

セイトカスズムシソウ

学名 *Liparis japonica* (Miq.) Maxim.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は極めてまれで、個体数も少ない。森林進行途中の林内の生育地は、植生遷移の進行による環境変化などで、絶滅の危険性が高い。

県内分布	(九重火山群), 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), アムール
生育環境	火山山頂帯の林内。
現 状	確認された生育地は極めて希。個体数が極めて少なく、持続して生育しているかどうか不明な所が多い。「九重火山群」の記録はあるが、その生育は把握されていない。
備 考	

ジガバチソウ

学名 *Liparis krameri* Franch. et Savat

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、個体数も少ない。自然林内の攪乱や人による採取で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	津江山地, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部)
生育環境	丘陵地から低山地の林内。
現状	最近, 確認されなくなった生育地が多くなってきた。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ササバラン

学名 *Liparis odorata* (Willd.) Lindl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(耶馬溪地区), (日田低地・丘陵地)
分布域	四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),琉球
世界的分布	台湾,中国(中・南部),タイ,ヒマラヤ,インド,ジャワ
生育環境	丘陵地の草原。
現 状	上記分布域の記録や標本はあるが, 現在, 生育状態が把握できていない。
備 考	

アオフタバラン

学名 *Listera makinoana* Ohwi

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では常緑広葉樹林の上限あたりの谷部に生育し、個体数は少ない。自然林の伐採や林道開発，人による採取などで，消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地，津江山地，九重火山群，由布・鶴見火山群，祖母・傾山地
分布域	本州，四国，九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地の谷沿い林内。
現状	「祖母・傾山地」の谷の上部では，生育地は極めて少ない。
備考	国定公園指定植物[耶馬日田英彦山]

ミヤマフタバラン

学名 *Listera nipponica* Makino

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(祖母・傾山地)
分布域	北海道,本州(北～中部),四国,九州(大分)
世界的分布	千島,ウスリー
生育環境	
現 状	「祖母・傾山地」で文献記録はあるが,その生育地は把握されていない。
備 考	文献[大井次三郎:日本植物誌 顕花編(1975)]

ボウラン

学名 *Luisia teres* (Thunb.) Bl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

樹木や断崖などに着生している。老木が少なくなり、個体数は少なくなっている。崖の崩壊や防止工事のため生育地は減少し、絶滅の危険性が高い。

県内分布	国東地区, 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州(紀伊半島以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の林内の樹上, 崖地。
現状	崖地や林内の樹木に希に生えるが, いずれも生育状態が悪くなっている。
備考	国定公園指定植物[耶馬日田英彦山, 日豊海岸, 祖母傾]

ニラバラン

学名 *Microtis unifolia* Reichb. fil.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

島の狭い草原に生えていて、個体数は極めて少ない。その草原は島の道路沿いにあるため、植生遷移の進行や採土などにより、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(関東以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	中国, 台湾, 太平洋諸島, オーストラリア
生育環境	海岸の草地。
現 状	生育地は島の道路法面の草地で、生育状態は衰退している。
備 考	

フウラン

学名 *Neofinetia falcata* (Thunb.) Hu

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

巨樹や古木の樹上に着生し、その確認は困難であるが、諸処の林内でわずかに生育している。人による採取で、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域
分布域	本州(静岡以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	中国
生育環境	低地や丘陵地の林内の巨樹や古木の樹上。
現状	人による採取でその減少は著しい。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ムカゴサイシン

学名 *Nervilia nipponica* Makino

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(大野川上流域)
分布域	本州,九州(大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の林内。
現 状	県内では、「大野川上流域」で採集された標本はあるが、以後その生育は把握できていない。
備 考	

ヨウラクラン

学名 *Oberonia japonica* (Maxim.) Makino

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

林内の樹幹に着生する。生育地は点在し、個体数は極めて少ない。着生木の伐採や枯損などにより、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	日田低地・丘陵地, 津江山地, 九重火山群, 北川上流域
分布域	本州(関東地方南部以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	
生育環境	低地から低山地の林内の樹幹に着生。
現状	林内の樹幹に着生するが, 着生木は極めて少ない。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 祖母傾]

コケイラン

学名 *Oreorchis patens* (Lindl.) Lindl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

諸処の溪谷沿いの林縁に生育しているが、個体数は多くない。溪谷林の伐採や河川工事,人による採取が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	南千島, 樺太, 中国, 中国(東北部), ウスリー, カムチャッカ
生育環境	丘陵地や低山地の溪谷沿い林縁。
現状	植林や道路工事などで溪谷沿いの森林伐採が行われ, 生育地が攪乱されて消滅した所がある。
備考	北方寒冷地要素の植物で, 九州は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]。

ガンゼキラン

学名 *Phajus flavus* (Bl.) Lindl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(豊後水道域), (豊後水道後背地域)
分布域	本州(紀伊半島,伊豆七島),四国,九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),琉球
世界的分布	台湾
生育環境	海岸の谷斜面から岩場。
現状	「豊後水道域」の河岸上部で確認されていた株は全て、洪水によって流失し、その後、自生地は確認できていない。
備考	

ツクシチドリ

学名 *Platanthera brevicalcarata* Hay. subsp. *yakumontana* (Masamune) Masamune

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

九州にごく希に分布する。県内の生育地はその北限地とされている。その生育地は極めて希で個体数も少ない。生育環境の変化や人による採取などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群
分布域	九州(大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地の林内湿地。
現 状	最近生育が確認された。植生遷移による環境変化で、生育状態が悪くなった所がある。
備 考	前川文夫は「原色, 日本のラン」で, 母種のニイタカチドリ(台湾中部高山2,500m前後に生育)と区別する必要はないとしている。国定公園指定植物[祖母傾]

ミズチドリ

学名 *Platanthera hologlottis* Maxim.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



[選定理由]

県内では西部地域の湿地に生え、個体数は少ない。水環境が変化して生育状態が悪化したり、人による採取もあって、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群,(祖母・傾山地)
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 南千島, 東シベリア
生育環境	丘陵地や低山地の湿地。
現状	「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	北方寒冷地要素の植物。

ツレサギソウ

学名 *Platanthera japonica* (Thunb.) Lindl.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

国内県内とも分布域は広いが、個体数は少ない。草原や林縁を生育地とするため植林や野焼きの停止などの植生遷移の進行により、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	中国
生育環境	丘陵地から低山地の草原や林縁。
現状	生育地の草原で, 植生遷移の進行により消滅した所がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]

ハシナガヤマサギソウ

学名 *Platanthera mandarinorum* Reichb. fil.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

火山山頂帯草原に希に生え、個体数は少ない。夏の登山期に開花するため人目につきやすく、人による採取が懸念される。

県内分布	九重火山群
分布域	本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国
生育環境	火山山頂帯の草原や林縁。
現状	山頂風衝地の草原に生え、個体数は少ない。花期は7～8月で夏の登山シーズンと重なる。
備考	

ヤマサギソウ

学名 *Platanthera mandarinorum* Reichb. fil. var. *brachycentron* (Franch. et Savat.) Koidzumi

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

火山性高原や尾根などの風衝地草原に生え、個体数は少ない。人目につきやすく、人による採取が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 樺太
生育環境	丘陵地から山地の草原。
現状	野焼きされる草原や尾根などの風衝地草原に生える。開花期は7～8月, 夏山シーズンに開花する。
備考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

マイサギソウ

学名 *Platanthera mandarinorum* Reichb.fil. var. *neglecta* (Schltr.) F.Maekawa

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし



【選定理由】

九州では大分県と宮崎県に分布する。県内では「九重火山群」に分布するが、生育地は狭く、個体数も少ない。植物体も小さく、他の植物に被圧されて減少傾向にあり、絶滅の危険性が高い。

県内分布	九重火山群, (由布・鶴見火山群), (北川上流域)
分布域	北海道南部, 本州(秋田: 手形山), 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や山地の草原。
現 状	「九重火山群」での生育地は局限。「由布・鶴見火山群」, 「北川上流域」で採集された標本はあるが, 近年, その生育地は把握されていない。
備 考	

キソチドリ

学名 *Platanthera ophrydioides* Fr. Schm.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(祖母・傾山地)
分布域	北海道,本州,四国,九州(大分・宮崎)
世界的分布	樺太,南千島
生育環境	山地の尾根岩上。
現状	「祖母・傾山地」の尾根筋で採集された標本はあるが、その生育は把握されていない。
備考	国定公園指定植物[祖母傾]

オオヤマサギソウ

学名 *Platanthera sachalinensis* Fr. Schmdt.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(津江山地), (祖母・傾山地)
分布域	北海道, 本州, 四国,
世界的分布	樺太, 南千島
生育環境	丘陵地や低山地の林内。
現 状	「津江山地」, 「祖母・傾山地」で採集された標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	国定公園指定植物[祖母傾]

ソハヤキトンボソウ

学名 *Platanthera stenoglossa* Hay. subsp. *hottae* K. Inoue

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： I A (CR)



[選定理由]

生育地が局限されていて、個体数も極めて少ない。人の踏みつけや採取などにより、絶滅の危険性が高い。

県内分布	祖母・傾山地
分布域	九州(大分)
世界的分布	
生育環境	山地の尾根林内。
現状	「祖母・傾山地」で最近、縦走路沿いの岩場で、ごくわずか生育しているのを確認された。
備考	基準標本産地[祖母山]

コバノトンボソウ

学名 *Platanthera tipuloides* Lindl. var. *nipponica* (Makino) Ohwi

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育する湿地が少なく、生育地が限られていて狭い。野焼きの停止による植生遷移の進行や湿原の改変により、生育地の減少や消滅の危険性が高くなっている。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の湿地。
現状	野焼きが停止されたり, 湿原の一部が埋められたりして, 生育状態の悪化した所がある。
備考	九州は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

トキソウ

学名 *Pogonia japonica* Reichb. fil.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

県内では分布域が狭く、個体数は極めて少ない。野焼きの停止による植生の遷移や、人による採取で消滅する生育地が多く、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	南千島, 朝鮮半島, 中国
生育環境	丘陵地や低山地の湿地。
現状	環境の悪化で生育状態が衰退した生育地がある。また、人による採取で消滅した所もある。
備考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

ヤマトキシソウ

学名 *Pogonia minor* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内では確認された生育地は希で、個体数も少ない。土地開発や野焼きの停止による生育環境の悪化で、消滅する生育地が多く、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪地区, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 豊後水道後背地域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の草原。
現状	「耶馬溪地区」のダム周辺の生育地は公園になって消滅した。
備考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

ウチョウラン

学名 *Ponerorchis graminifolia* Reichb. fil.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、個体数も極めて少ない。山野草の主要な対象種で、採取されて多くの生育地は消滅してしまった。人による採取で絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域
分布域	本州(秋田, 関東以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地や低山地の岩場。
現状	人による採取で, どの生育地も消滅状態である。たまに深山の岩影や高い樹木などに着生したものをみることがある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ベニカヤラン(マツラン)

学名 *Saccolabium matsuran* Makino

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内では主に内陸部の針葉樹の樹幹に着生することが多い。森林伐採や植林により、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	本州(岩手以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の主に針葉樹の樹幹。
現状	目立ちにくいランで, アカマツやツガなどの樹幹に着生するが, 生育状態が把握されることは少ない。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 祖母傾]

ナゴラン

学名 *Sedirea japonica* (Linden et Reichb. fil.) Garay et Sweet

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)



[選定理由]

雲霧のかかりやすい林内の古木の樹幹や枝に着生する。生育地、個体数ともに僅少で、人による採取や森林の伐採などにより、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	本州(伊豆諸島, 京都以西), 四国, 九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地や低山地の林内, 古木や樹幹。
現状	生育地は樹林の伐採や植林, 林道開発, 人による採取などでほとんど消滅している。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]。指定希少野生動植物。

クモラン

学名 *Taeniophyllum aphyllum* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内では分布する地域は狭く、個体数も少ない。森林の伐採や植林により、生育地の減少や生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	国東地区, 津江山地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島, 台湾, 中国〜ヒマラヤ, マレーシア
生育環境	丘陵地や低山地の林内, 樹幹。
現状	森林が伐採されて消滅した生育地がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

カヤラン

学名 Thrixspermum japonicum (Miq.) Reichb. fil.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育地は散在し、個体数はかなり多い。森林伐採や土地開発による生育環境の悪化や人による採取が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地から山地の林内樹上。
現状	針葉樹, 広葉樹どちらの樹種にも着生する。目立ちにくく, 確認されていない生育地は多い。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ヒツボクロ

学名 *Tipularia japonica* Matsumura

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地), (日田低地・丘陵地), (由布・鶴見火山群)
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地や低山地の林内。
現状	「英彦山・犬ヶ岳山地」, 「日田低地・丘陵地」, 「由布・鶴見火山群」で採集された標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

イイヌマムカゴ

学名 *Tulotis iinumae* (Makino) Hara

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地)
分布域	北海道(渡島),本州,四国,九州(大分)
世界的分布	
生育環境	
現 状	「英彦山・犬ヶ岳山地」で採集された標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	国定公園指定植物[耶馬日田英彦山]

トンボソウ

学名 *Tulotis ussuriensis* (Regel et Maack) Hara

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

草原や林縁に希に生え、個体数も少ない。多くは林縁に生えるため、生育地の植生の遷移の進行で、生育状況に消長がみられる。生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国, 南千島, アムール, ウスリー
生育環境	低山地や山地の草原や林縁。
現状	植生遷移の影響を受けて、消滅した生育地がある。
備考	北方寒冷地要素の植物で、九州は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

キバナノショウキラン

学名 *Yoania amagiensis* Nakai et F. Maekawa

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)

NO IMAGE

【選定理由】

ごく限られた場所に生育し、個体数も極めて少ない。林内の生育環境に影響されやすく、生育状態の消長が著しい。常に消滅の危険性が高い。

県内分布	九重火山群, 祖母・傾山地
分布域	本州(関東地方西南部, 伊豆半島, 東海地方, 奈良), 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の林内。
現 状	「祖母・傾山地」ではスズダケの中に生育している。
備 考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]

ショウキラン

学名 *Yoania japonica* Maxim.

目名

目名学名

科名 ラン科

科名学名 Orchidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

主として落葉広葉樹林内に生える無葉ラン。生育地、個体数ともに少ない。生育環境の変化によって生育状態が違い、森林伐採や環境の乾燥化などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	津江山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 北川上流域
分布域	北海道(半島部), 本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から山地の林内。
現 状	気象による生育条件で生育状態が著しく違う。
備 考	九州は分布の南限域にあたる。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ハンゲシヨウ

学名 *Saururus chinensis* (Lour.) Baill

目名

目名学名

科名 ドクダミ科

科名学名 Saururaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

低湿地に生育し、県内の生育地は散在していて少ない。湿地の改修や枯渇などで、生育地の消滅や生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島, 中国, フィリピン
生育環境	低地の水辺や湿地。
現状	生育環境が変化して, 生育状態の悪化した生育地がみられる。
備考	

サダソウ

学名 *Peperomia japonica* Makino

目名

目名学名

科名 コショウ科

科名学名 Piperaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域は狭く、県内では「豊後水道域」に限られる。アコウなどの生える崖下などに多く生え、道路工事、崩壊などの影響を受けて生育地の悪化が懸念される。

県内分布	豊後水道域
分布域	四国,九州(大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	台湾
生育環境	海岸の林内や湿った岩場。
現 状	「豊後水道域」の生育地は崖の樹陰などに点在し、いずれも個体数は少ない。道路工事で消滅した生育地がある。
備 考	国定公園指定植物[日豊海岸]

イヌコリヤナギ

学名 *Salix integra* Thunb.

目名

目名学名

科名 ヤナギ科

科名学名 Salicaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

本県の生育地は極めて限定されており、個体数も少ない。河川改修や溪流辺の改変により、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	日田低地・丘陵地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州,九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),アムール,ウスリー
生育環境	丘陵地から低山地の河岸や溪畔。
現状	生育地は川辺に近く, 川の氾濫や土地の改変により消滅した所がある。
備考	

コウライヤナギ

学名 *Salix koreensis* Anders.

目名

目名学名

科名 ヤナギ科

科名学名 Salicaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(耶馬溪地区), (九重火山群)
分布域	本州(西部), 九州(佐賀・大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部)
生育環境	
現 状	「耶馬溪地区」, 「九重火山群」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	

ノヤナギ

学名 *Salix subopposita* Miq.

目名

目名学名

科名 ヤナギ科

科名学名 Salicaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

火山性高原の風衝地に生育し、しばしば群生している。野焼きの中断や牧野改変による生育環境の変化で、生育状態の悪化が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 姫島・国東海岸, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	本州(中国), 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島(済州島)
生育環境	丘陵地から山地の乾燥した風当たりの強い草原。
現状	消滅の主たる原因は土地改変によるもので、「九重火山群」や「由布・鶴見火山群」では消滅した生育地がある。
備考	大陸系遺存植物。

ハンノキ

学名 *Alnus japonica* (Thunb.) Steud.

目名

目名学名

科名 カバノキ科

科名学名 Betulaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

湿地や湧水地の周辺部に生育する。土地造成や道路建設などの大規模な開発行為の影響を受けて生育環境が改変され、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 姫島・国東海岸, 九重火山群, (豊後水道後背地域)
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州, 沖縄
世界的分布	朝鮮半島, ウスリー, 中国(東北部), 台湾, 中国
生育環境	低地や丘陵地の湿地, 湧水池の周辺部。
現状	低地の生育地は土地造成や道路工事など, 種々の開発行為で皆伐され消滅した所が数か所ある。「別府湾沿岸域」の生育地は消滅した。「豊後水道後背地域」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備考	

ケハンノキ

学名 *Alnus japonica* (Thunb.) Steud. var. *koreana* Call.

目名

目名学名

科名 カバノキ科

科名学名 Betulaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

湿地や湧水地の周辺部に生育する。土地造成や道路建設などの大規模な開発行為の影響を受けて生育環境が改変され、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 姫島・国東海岸, 九重火山群, (豊後水道後背地域)
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州, 沖縄
世界的分布	朝鮮半島, ウスリー, 中国(東北部), 台湾, 中国
生育環境	低地や丘陵地の湿地, 湧水池の周辺部。
現状	低地の生育地は土地造成や道路工事など, 種々の開発行為で皆伐され消滅した所が数か所ある。「別府湾沿岸域」の生育地は消滅した。「豊後水道後背地域」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備考	

イワシデ

学名 *Carpinus turczaninovii* Hance

目名

目名学名

科名 カバノキ科

科名学名 Betulaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地が限られていて個体数も少ない。生育地の崩落や生育環境の変化により、その消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地
分布域	本州(中国),四国,九州(福岡・長崎・熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島,中国(北部)
生育環境	丘陵地の乾燥した尾根や岩場の林内。
現状	岩場の厳しい生育環境で、個体数の自然増は期待できず、徐々に減少する傾向にある。
備考	県指定天然記念物「高平のイワシデ林」(本耶馬溪町)

ハシバミ

学名 *Corylus heterophylla* Fischer ex Besser var. *thunbergii* Bl.

目名

目名学名

科名 カバノキ科

科名学名 Betulaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内では「九重火山群」にだけ分布する。野焼きの行われる放牧地、採草地などに群生することが多いが、野焼きの中止による遷移の進行や牧野改良などによる、生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道,本州,九州(大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の草原, 林縁。
現状	草原が放置され森林化している所では, 個体数は激減している。
備考	大陸系遺存植物で,「九重火山群」はその南限にあたる。母種は朝鮮半島, 中国(東北部), 中国北部, 東シベリアに分布する。

ハナガガシ

学名 *Quercus hondae* Makino

目名

目名学名

科名 ブナ科

科名学名 Fagaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)



[選定理由]

九州と四国に分布する。県内では「豊後水道域」とその背後地の丘陵地に林をつくる。他の生育地では単木で生育しているものがあり、消滅の危険性が高い。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域, 豊後水道後背地域
分布域	四国,九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地。
現 状	国天然記念物のものを除けば住民の意識は薄く, 隣接するスギの切り出しの邪魔になるといことで伐採されたことがある。
備 考	国指定天然記念物「堅田郷八幡社のハナガガシ林」・一部県指定「城八幡社の自然林」(佐伯市), 県指定天然記念物「八坂神社のハナガガシ林」(弥生町)

アベマキ(自生種)

学名 *Quercus variabilis* Bl.

目名

目名学名

科名 ブナ科

科名学名 Fagaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

本県では生育地の多くが植栽によるもので、自生種の生育地は瀬戸内型気候の岩場の狭い地域に限られている。森林伐採や植林などによって、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地
分布域	本州(中～西部), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・大分)
世界的分布	朝鮮、中国
生育環境	低地や丘陵地の尾根林内。
現状	「国東地区」では地域開発による土地改変で生育地が狭くなっている。「耶馬溪地区」では、筑紫熔岩上にかなり広い生育地がある。
備考	

タイワントリアシ

学名 *Boehmeria formosana* Hayata

目名

目名学名

科名 イラクサ科

科名学名 Urticaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(豊後水道後背地域)
分布域	九州(大分・鹿児島), 沖縄
世界的分布	中国, 台湾
生育環境	低地の谷沿いの林内。
現 状	近年, 生育地が確認されたが, 林内の下刈りが行われ, その生育地の再確認がされていない。
備 考	「豊後水道後背地域」は, 日本における分布の北限域にあたる。

イヌヤブマオ

学名 *Boehmeria pseudosieboldiana* Honda

目名

目名学名

科名 イラクサ科

科名学名 Urticaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域は狭い。生育地は極めてまれで、個体数も少ない。林縁や路傍に生育し、植生遷移の進行により生育環境が悪化し、生育地の衰退や減少が懸念される。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州・四国・九州(長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	岬の林縁や路傍。
現 状	岬の尾根に通じる道路沿いの林縁や路傍に生え、個体数は少ない。
備 考	九州の特産種とされる。

アカソ

学名 *Boehmeria tricuspis* Makino

目名

目名学名

科名 イラクサ科

科名学名 Urticaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は極めて希で、個体数も少ない。路傍の林縁に生えているため、人為が及び、生育地が攪乱されて絶滅の危険性が高い。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・大分・宮崎)
世界的分布	中国
生育環境	低山地の林縁。
現 状	生育地,個体数ともに僅少。林道沿いに生育しているため,草刈りや切り枝が積まれるなど,しばしば人為の影響を受けている。
備 考	

ヤナギイチゴ

学名 *Debregeasia edulis* (Sieb. et Zucc.) Weddell

目名

目名学名

科名 イラクサ科

科名学名 Urticaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

県内では「豊後水道域」にだけ生育し、個体数はかなりみられる。林道工事や道路の拡張整備などで影響を受けた所が多く、生育地の改変が懸念される。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(関東地方南部, 東海道, 近畿地方南部), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国
生育環境	海岸の林縁。
現 状	「豊後水道域」の南に行くほど個体数は増え、結実もみられる。
備 考	

チョクザキミズ

学名 *Lecanthus peduncularis* (Royle) Wedd.

目名

目名学名

科名 イラクサ科

科名学名 Urticaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)



【選定理由】

日本での生育地は局限されている。本県の生育地は「大野川上流域」に限られ、個体数も極めて少ない。水質汚染、河川開発、道路工事などで生育地が改変され、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	大野川上流域
分布域	九州(熊本・大分)
世界的分布	中国(中部・南部・西南部), 台湾, ヒマラヤ, ジャワ, フィリピン
生育環境	丘陵地の水飛沫がかかる滝辺。
現 状	人里近くの滝のしぶきがかかるような岩場に生育している。道路沿いで衰退した生育地がある。
備 考	指定希少野生動植物

タチゲヒカゲミズ

学名 *Parietaria micrantha* Ledeb. var. *coreana* (Nakai) Hara

目名

目名学名

科名 イラクサ科

科名学名 Urticaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地)
分布域	本州(中部),九州(大分)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	
現 状	「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	

コケミス

学名 *Pilea peplodes* (Gaudich.) Hook. et Arn.

目名

目名学名

科名 イラクサ科

科名学名 Urticaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

海岸の湿った岩の隙間に生え、個体数は極めて少ない。波による被害や植生遷移の進行による環境変化で、絶滅の危険性が高い。

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地),豊後水道域
分布域	本州(関東以西),四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	朝鮮半島,台湾,中国,ウスリー,マレーシア,インド,ハワイ,ガラパゴス
生育環境	海岸の湿った岩の隙間。
現状	「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	

ボロボロノキ

学名 Schoepfia jasminodora Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 ボロボロノキ科

科名学名 Olacaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では西部と南部地域に偏っており、生育地、個体数とも少ない。低地の二次林にあるものは、里山の開発による森林伐採の影響が懸念される。

県内分布	日田低地・丘陵地, 豊後水道後背地域
分布域	九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	中国
生育環境	低地や丘陵地のやや乾燥した林内。
現状	カン・シイ二次林に生える。個体数は少ない。
備考	

ツクバネ

学名 *Buckleya lanceolata* Miq.

目名

目名学名

科名 ビャクダン科

科名学名 Santalaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(玖珠丘陵地・山地),(豊後水道後背地域)
分布域	本州(近畿地方以東),九州(大分)
世界的分布	
生育環境	
現状	「玖珠丘陵地・山地」,「豊後水道後背地域」の文献記録はあるが,その生育地は把握されていない。
備考	文献[原 寛:日本顕花植物分布図 (1959)]

オオバヤドリギ

学名 *Taxillus yadoriki* (Sieb.) Danser

目名

目名学名

科名 ヤドリギ科

科名学名 Loranthaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域が偏在し、生育地は少ない。樹上寄生のため、風害、伐採あるいは寄生樹の衰退による、生育状態の悪化が懸念される。

県内分布	国東地区, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域
分布域	本州(関東地方南部以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	朝鮮半島(南部)
生育環境	低地の林内(樹上), スギ, メタセコイア, クヌギ, ケヤキ, タブノキ, ソメイヨシノ, イロハモミジなどに寄生する。
現状	生育地は孤立している。オオバヤドリギが多く寄生し, 衰退した寄生樹がみられる。
備考	国立・国定公園指定植物[瀬戸内海]

タイリンアオイ

学名 *Asarum asaroides* (Morr. et Decne.) Makino

目名

目名学名

科名 ウマノスズクサ科

科名学名 Aristolochiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内の分布域はかなり広く、個体数も多い。植生の遷移による生育環境の悪化や人による採取が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	本州(中国地方西部), 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地から低山地の林内。
現状	道路工事や人による採取などで、個体数が減少した所がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]

ミヤコアオイ

学名 *Asarum asperum* F. Maekawa

目名

目名学名

科名 ウマノスズクサ科

科名学名 Aristolochiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

全国的には分布が限られている。県内では中部地域に偏在する。植生の遷移による生育環境の悪化や人による採取が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地
分布域	本州(西部), 四国, 九州(大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の林縁, 林内。
現状	植生の遷移や森林伐採などにより個体数の減少した所がある。
備考	本県は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[瀬戸内海]

フタバアオイ

学名 *Asarum caulescens* Maxim.

目名

目名学名

科名 ウマノスズクサ科

科名学名 Aristolochiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内での生育地は各地に散在し、しばしば群生して、個体数はかなり多い。植生の遷移や森林伐採などによる生育環境の変化で、生育状態の悪化が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	本州(福島以南), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の谷林内。
現状	植林や森林伐採による環境の変化で、消滅したり、個体数の減少した所がある。
備考	

クロフネサイシン

学名 *Asarum dimidiatum* F. Maekawa

目名

目名学名

科名 ウマノスズクサ科

科名学名 Aristolochiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)



【選定理由】

生育地は点在し、個体数は少ない。林縁の生育地は植生遷移の進行による環境変化で、生育状態が悪化し、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	四国,九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の林縁や林内。
現状	ズズダケが密生して衰退した生育地がある。
備考	

サンヨウアオイ

学名 *Asarum hexalobum* (F. Maekawa) F. Maekawa

目名

目名学名

科名 ウマノスズクサ科

科名学名 Aristolochiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

主として常緑樹林内に生え、分布域は限られている。森林の伐採で生育環境は悪化し、また、人による採取で生育地の減少が懸念される。

県内分布	大分川・大野川丘陵地, 豊後水道域, 豊後水道後背地域
分布域	本州(中国地方西部),九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の林内。
現状	生育地は保存の良い常緑樹林内に限られているが、個体数は比較的多い。植林されて生育環境の悪化した所がみられる。
備考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

ツチトリモチ

学名 *Balanophora japonica* Makino

目名

目名学名

科名 ツチトリモチ科

科名学名 Balanophoraceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



【選定理由】

県内での生育地は東部・南部地域に偏在し、個体数も少ない。森林伐採、林道開設など生育環境の改変で、絶滅の危険性が高い。

県内分布	豊後水道後背地域,大野川上流域,北川上流域
分布域	本州,四国,九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の林内。
現状	主な寄主はクロキ(ハイノキ科)で,アカマツ林やコジイ林などを生育地とする。森林伐採で消滅した生育地がある。
備考	国定公園指定植物[日豊海岸, 祖母傾]

ミヤマツチトリモチ

学名 *Balanophora nipponica* Makino

目名

目名学名

科名 ツチトリモチ科

科名学名 Balanophoraceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)



【選定理由】

本州北部に広く分布し、南下するに従い分布域が狭くなっている。本県の生育地は点在し、個体数も少ない。自然林の伐採による生育地の減少が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	本州(北～中部), 九州(長崎・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	山地の谷部林内。落葉広葉樹(カエデ類)を宿主として根に生育する。
現 状	「祖母・傾山地」では、ごく最近、生育地が確認された。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]。異名キュウシュウツチトリモチの基準標本産地[由布岳]

ヒメタデ

学名 *Persicaria erecto-minor* (Makino) Nakai

目名

目名学名

科名 タデ科

科名学名 Polygonaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育地は散在し、生育範囲も狭い。生育地である池沼の水位や水質の変化や周辺地の土地開発などで、消滅が懸念される。

県内分布	別府湾沿岸域, 中津・宇佐低地, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地の湿地や池畔。
現 状	ため池利用が停滞し、水位や水質が変化したために生育範囲が狭くなっているところや、観光開発による土地改変が行われている生育地もある。
備 考	

サイコクヌカボ

学名 *Polygonum foliosum* H. Lindb. var. *nikaii* (Makino) Okuyama

目名

目名学名

科名 タデ科

科名学名 Polygonaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(別府湾沿岸域), (九重火山群)
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の湿った林縁。
現 状	「別府湾沿岸域」, 「九重火山群」で採集されているが, その後, その生育状態は把握されていない。
備 考	

ヤナギヌカボ

学名 *Polygonum foliosum* H. Lindb. var. *paludicola* (Makino) Kitamura

目名

目名学名

科名 タデ科

科名学名 Polygonaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は散在し、しばしば群生するが生育範囲は狭い。1年草のため、生育環境の変化で生育状態に消長がみられる。土地の改変や水環境の悪化で、生育地の減少が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大野川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低地から低山地の湿地や湿った林縁。
現 状	生育環境が不安定で、生育状態が持続しているかどうか把握されていない所がある。
備 考	

ヌカボタデ

学名 *Polygonum taquetii* Lév.

目名

目名学名

科名 タデ科

科名学名 Polygonaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、しばしば群生するが、生育範囲は広くない。1年草のため、水環境による消長が著しく、生育環境の変化で生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州, 四国, 九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低地や丘陵地の湿地。
現状	かつての生育地で生育状態が把握されていない所が多い。
備考	

フトボノヌカボタデ

学名 *Polygonum kawagoeanum* Makino var. *densiflorum* (Hara et I.Ito) Ohwi

目名

目名学名

科名 タデ科

科名学名 Polygonaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

分布域はごく狭く、生育地はまれ。池畔の一部に生育し、個体数は少ない。生育する池畔は人類文化地と接しているため、生育地が攪乱され、水環境の変化もあって、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地
分布域	本州(千葉),九州(長崎・熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	低地の池畔。
現 状	生育地の池畔はほとんどが広場の緑地帯となっていて、常に人為が及んでいる。
備 考	分布域はごく狭く、本県は分布の南限域にあたる。

コギシギシ

学名 Rumex nipponicus Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 タデ科

科名学名 Polygonaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内の生育地は耕作地が多い。しばしば群生しているが、生育環境が不安定で生育状態に消長がみられ、生育地の攪乱で減少や消滅が懸念される。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域
分布域	本州(関東沿海地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国
生育環境	低地の水田や畑地。
現 状	耕作地やその周辺地に生育するため、生育環境が不安定で生育状態に消長が著しい。
備 考	

イソホウキギ

学名 *Kochia scoparia* (L.) Schrad. var. *littorea* Makino

目名

目名学名

科名 アカザ科

科名学名 *Chenopodiaceae*

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は河口の塩湿地という限られた場所で狭く、個体数は少ない。海岸の埋立てや河川敷の改変などで生育地の消滅が懸念される。

県内分布	周防灘海岸, 別府湾沿岸域
分布域	本州(東海道以西), 四国, 九州(福岡・大分)
世界的分布	朝鮮, 満州
生育環境	海岸の塩湿地。
現状	海岸の埋立によって生育地の消滅した所がある。
備考	

シチメンソウ

学名 Suaeda japonica Makino

目名

目名学名

科名 アカザ科

科名学名 Chenopodiaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(周防灘海岸), (別府湾沿岸域)
分布域	九州(福岡・佐賀・長崎)
世界的分布	朝鮮, 満州(南部)
生育環境	海岸や河口の泥湿地。
現状	「周防灘海岸」や「別府湾沿岸域」で採取された標本や記録はあるが, 生育地の海岸の河口の干潟は埋立てや河川工事などで改変されており, 現在まで, 生育状態は不明である。
備考	大陸系遺存植物。

ヒロハマツナ

学名 Suaeda malacosperma Hara

目名

目名学名

科名 アカザ科

科名学名 Chenopodiaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

全国的に分布域が限られており、県内でも生育地、個体数ともに僅少。生育地は海岸の埋立てや河川工事などによって改変されて、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	周防灘海岸, 別府湾沿岸域
分布域	本州(岡山・広島),九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	海岸や河口の泥湿地。
現状	「周防灘沿岸」や「別府湾沿岸域」の河口の泥湿地に局所的に生育していたが、現在、生育地の確認できる所はほとんどない。
備考	

ハママツナ

学名 Suaeda maritima (L.) Dumort. subsp. asiatica Hara

目名

目名学名

科名 アカザ科

科名学名 Chenopodiaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

浅海地の泥湿地に生育する。県内の生育地は散在し、帯状に分布する。生育地の改修や地形変化で、生育状況の悪化が懸念される。

県内分布	周防灘海岸, 姫島・国東海岸, 別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	本州(宮城以南, 太平洋側), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	北半球, オーストラリア
生育環境	海岸や河口の泥湿地。
現状	生育環境の変化で, 生育状態が衰退した所がある。
備考	

ハチジョウイノコズチ

学名 *Achyranthes bidentata* Bl. var. *hachijoensis* (Honda) Hara

目名

目名学名

科名 ヒユ科

科名学名 *Amaranthaceae*

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は海岸の岬の先端部や島に限られる。路傍近くにも生育地があるため、土地開発や吹付工事などで、生育状態の悪化が懸念される。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(南部),九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	
生育環境	海岸の岩場や路傍。
現状	島の生育地で漁具などが放置され、生育状態の悪化した所がみられる。
備考	

ヤナギイノコズチ

学名 *Achyranthes longifolia* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 ヒユ科

科名学名 Amaranthaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内では主として西部地域に偏在し、点在している。路傍や林縁に生育していることから、道路開設や除草などによる、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	日田低地・丘陵地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地
分布域	本州(中部地方以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国, 台湾
生育環境	低地や丘陵地の林縁。
現状	低地から丘陵地の林縁に生育しているため、生育地は人為的影響を受けやすく、消滅した所がある。
備考	

ヒメハマナデシコ

学名 *Dianthus kiusianus* Makino

目名

目名学名

科名 ナデシコ科

科名学名 Caryophyllaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内における分布域は限られ、個体数も極めて少ない。人による採取や岩場の自然崩壊などにより、絶滅が懸念される。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(和歌山),九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),琉球
世界的分布	
生育環境	海岸の岩上。
現状	1972年、深島で採集された標本はあるが、その生育地は確認されていない。佐賀関半島での生育地は確認されている。
備考	国定公園指定植物[日豊海岸]

オグラセンノウ

学名 *Lychnis kiusiana* Makino

目名

目名学名

科名 ナデシコ科

科名学名 Caryophyllaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省： I B (EN)



[選定理由]

国内では本州(中国地方)と九州の一部に分布する。県内の生育地は極めて希で、個体数も僅少。生育地の湿地の開発や乾燥化による生育環境の悪化, 人による採取などで, 絶滅の危険性は極めて高い。

県内分布	津江山地, 九重火山群
分布域	本州(西部),九州(熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地の湿地。
現状	植林されて生育する個体数が少なくなった所, 生育の確認できない所がある。
備考	大陸系遺存植物。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]。指定希少野生動植物。

フシグロセンノウ

学名 *Lychnis miqueliana* Rohrb.

目名

目名学名

科名 ナデシコ科

科名学名 Caryophyllaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内では主として西部・中部の火山地域に偏在する。生育地や個体数はかなり多い。植生遷移の進行による環境変化や人による採取が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地
分布域	本州(関東, 中部, 西部地方), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の林縁。
現状	植生遷移の進行で生育環境が変化し, 生育状態が悪くなった所がある。
備考	

タチハコベ

学名 *Moehringia trinervia* Clairv.

目名

目名学名

科名 ナデシコ科

科名学名 Caryophyllaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(姫島・国東海岸)
分布域	北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	ヨーロッパ,シベリア,台湾
生育環境	
現 状	「姫島・国東海岸」の記録はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	

ワダソウ

学名 *Pseudostellaria heterophylla* (Miq.) Pax

目名

目名学名

科名 ナデシコ科

科名学名 Caryophyllaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、個体数も少ない。植林の森林化や、土地改変による生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州,九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),ウズリー,中国
生育環境	丘陵地や低山地の北寄りのやや湿った草原や林縁。
現状	主として丘陵地の火山性草原を生育地としているため, 植林や人工牧野などへの改変で, 消滅した生育地がある。
備考	大陸系遺存植物で, 九州は分布域の南限域。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

ハマツメクサ

学名 *Sagina maxima* A. Gray

目名

目名学名

科名 ナデシコ科

科名学名 Caryophyllaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

海岸崖地に生えるが生育範囲は狭い、魚釣り、レジャーなどで生育地の環境悪化で、生育地の減少が懸念される。

県内分布	豊後水道域
分布域	北海道,本州,四国,九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	樺太,千島,台湾,中国,朝鮮半島,ウスリー,カムチャッカ,アリューシャン,アラスカ,北米西海岸、
生育環境	海岸の岩上。
現 状	「豊後水道域」の島の岩上に、ごく少ない生育地が確認されている。
備 考	

ナガバノサワハコベ

学名 *Stellaria diversiflora* Maxim. var *angustifolia* (Mizushima) Hatusima et Arakane

目名

目名学名

科名 ナデシコ科

科名学名 Caryophyllaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

これまで四国でサワハコベの品種とされていたが、2005年に新変種として記載された。九州初見として大分県でその生育が確認され、県内では「大分川・大野川丘陵地」や「大野川上流域」、「津江山地」などに点在している。森林伐採や植生の遷移による環境の変化により、絶滅が懸念される。

県内分布	大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 津江山地, 祖母・傾山地
分布域	四国,九州(大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の湿った林内。
現状	今のところ, 九州では本県だけで, 生育地は少なく, 本変種とサワハコベの中間型も採集されている。
備考	

アオハコベ

学名 *Stellaria uchiyamana* Makino var. *apetala* (Kitamura) Ohwi

目名

目名学名

科名 ナデシコ科

科名学名 Caryophyllaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は県の西部地域に偏在し、生育地、個体数も僅少。人類文化地に生育するため、生育環境に人為が及びやすく、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	日田低地・丘陵地
分布域	本州(近畿地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地の路傍や空き地。
現 状	生育状態に消長がみられ安定していない。
備 考	

ジュンサイ

学名 *Brasenia schreberi* J. F. Gmel.

目名

目名学名

科名 スイレン科

科名学名 Nymphaeaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内の分布域は北部・西部・中部地域に偏っている。古い池沼に生育し、生育地は少ない。池沼開発や水質汚濁による生育環境の悪化で、生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 別府湾沿岸域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	東亜, インド, オーストラリア, メキシコ, キューバ, 北米
生育環境	低地や丘陵地の池沼。
現状	池沼の水質悪化により, 消滅した所がある。
備考	

オニバス

学名 *Euryale ferox* Salisb.

目名

目名学名

科名 スイレン科

科名学名 Nymphaeaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)



[選定理由]

農業用ため池に点在し、生育地は少ない。水質汚染や改修工事、埋め立てなどにより生育地が激減している。水環境の変化による消長が著しく、環境の悪化で絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	中津・宇佐低地, (別府湾沿岸域)
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	インド, 中国, 台湾
生育環境	低地の池沼。
現 状	年による消長が著しく, 安定した生育地は数か所ほどである。「別府湾沿岸域」の生育地は1980年代以降, その生育は確認されていない。
備 考	

コウホネ

学名 *Nuphar japonicum* DC.

目名

目名学名

科名 スイレン科

科名学名 Nymphaeaceae

カテゴリー 大分県：準 (NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内の分布域は県北地方に偏在し、生育地は点在するが、個体数はかなり多い。比較的水環境の安定したため池に生育する。周辺地の環境変化による、生育環境への影響が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 別府湾沿岸域
分布域	北海道(西部), 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低地の池沼。
現 状	水環境が安定している池沼でも, 他の水生植物と競合して生育状態に消長がみられる。
備 考	

ヒメコウホネ

学名 *Nuphar subintegerrimum* Makino

目名

目名学名

科名 スイレン科

科名学名 Nymphaeaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

生育する池沼は極めて希。生育する池は気象条件により水位の変化が著しく、生育環境は安定していない。また、開発されて消滅する危険性も高い。

県内分布	中津・宇佐低地
分布域	本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地の池沼。
現 状	「中津・宇佐低地」は池沼は多いが、ヒメコウホネの生育地はごく希で、不安定な生育環境にある。
備 考	

ヒツジグサ

学名 *Nymphaea tetragona* Georgi var. *angusta* Casp.

目名

目名学名

科名 スイレン科

科名学名 Nymphaeaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では、西部地域の池沼に生育するが、生育地は少ない。水質汚濁で水環境が悪化した所が生じており、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 中津・宇佐低地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の池沼。
現状	低地のため池で水質汚染がひどく, 生育状態の把握できにくい所がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]

ハナカズラ

学名 *Aconitum ciliare* DC.

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(日田低地・丘陵地), (玖珠丘陵地・山地), (九重火山群)
分布域	九州(福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島(南部)
生育環境	丘陵地の草原や明るい林内。
現 状	一部の群生地は土地開発や植生遷移で消滅した。他の生育地でも, その生育が確認できなくなっている。
備 考	大陸系遺存植物。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

コウライブシ

学名 *Aconitum jaluense* Komarov

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I A (CR)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(大野川上流域)
分布域	本州(中国地方),九州(福岡・大分)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地の林縁。
現状	「大野川上流域」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	大陸系遺存植物。本県は分布の南限域にあたる。

タンナトリカブト

学名 *Aconitum japonicum* Thunb. subsp. *napiforme* (Lév. et Van.) Kadota

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



[選定理由]

日本では西南日本に限定して分布するが、県内ではかなり広い地域に生育し、個体数も少なくない。主として林縁に生えるため、植生遷移の進行や人による採取で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 祖母・傾山地,
分布域	本州(中国地方), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島(南部)
生育環境	丘陵地から山地の林縁や林内。
現状	植生が遷移して生育環境が変わり, 衰退した生育地がある。
備考	大陸系遺存植物。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ルイヨウショウマ

学名 *Actaea asiatica* Hara

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地はごく希で、個体数も少ない。谷沿いの林内に生えるため、溪谷林の伐採や谷部の崩壊などにより、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 中国(東北部), ウスリー
生育環境	低山地の林内。
現状	安定した溪谷沿いの林内に生えるが, 森林伐採や出水などで消滅した生育地がある。
備考	北方寒冷地要素の植物で, 本県は分布の南限域にあたる。

フクジュソウ

学名 *Adonis amurensis* Regel et Radde

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

県内の生育地は点在し、個体数は極めて少ない。年々生育地が失われており、辛うじて生育している所が多い。草地開発、人による採取などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群,由布・鶴見火山群,大分川・大野川丘陵地
分布域	北海道,本州,九州(大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地や低山地の谷草原や林縁。
現状	自然環境が保持され持続している生育地は、ほとんどなくなっている。
備考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

ユキワリイチゲ

学名 *Anemone keiskeana* T. Ito

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

九州では大分だけに分布する。低山地の林縁，半陰地に生える。森林伐採や人による採取などで，生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区，九重火山群，由布・鶴見火山群，大分川・大野川丘陵地，大野川上流域，北川上流域
分布域	本州(西部),四国,九州(大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の林縁，林内。
現状	森林伐採により環境が悪化した所や人により採取された所がある。
備考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

キクザキイチリンソウ

学名 *Anemone pseudo-altaica* Hara

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(九重火山群)
分布域	北海道,本州(北部～中部),
世界的分布	
生育環境	
現 状	「九重火山群」の標本はあるが,その生育地は把握されていない。
備 考	

アズマイチゲ

学名 *Anemone raddeana* Regel

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内の生育地は極めて少なく、個体数は僅少である。林縁に生育するため、植生遷移の進行や人為の影響を受けやすく、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群, 大野川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地の林縁。
現 状	「大野川上流域」では最近, 生育地が確認された。「九重火山群」では, 人為による影響を強く受けて, 消滅寸前の生育地がある。
備 考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

ヤマオダマキ

学名 *Aquilegia buergeriana* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域が狭く、県内での生育地は点在し、個体数も少ない。生育地の植生遷移の進行による生育環境の変化や人にひよる採取などで、絶滅の危険性が高い。

県内分布	九重火山群,由布・鶴見火山群
分布域	本州,四国,九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	火山山頂帯付近の草原や林縁。
現状	植生遷移の進行により、生育環境が変化して生育状態が衰退した所や人による採取で消滅した所がある。
備考	

リュウキンカ

学名 *Caltha palustris* L. var. *membranacea* Turcz.

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

北方の湿原には広く分布するが、九州では限られた狭い地域に分布する。開発による攪乱や、生育地の乾燥化により生育状態が悪化して個体数は減少しており、絶滅の危険性が高い。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群
分布域	本州,九州(熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),中国,極東地方
生育環境	丘陵地や低山地の湿地や水流辺。
現状	ほとんどの生育地で生育環境が悪化し, 個体数が減少している。
備考	北方寒冷地要素の植物。九州は, 分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

カザグルマ

学名 *Clematis patens* Morren et Decaisne

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)



[選定理由]

県内の生育地は点在し、個体数も少ない。低いつる性の植物のため、里山の管理放棄などで植生の遷移の影響を受けやすく、人による採取もあつて、絶滅の危険性が高い。

県内分布	由布・鶴見火山群,別府湾沿岸域,大分川・大野川丘陵地,大野川上流域
分布域	本州,四国,九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),中国
生育環境	低地から低山地の林縁。
現状	管理放棄された里山では,植生遷移の進行のため消滅した生育地がある。
備考	

オオクサボタン

学名 *Clematis speciosa* (Makino) Makino

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

四国、九州の石灰岩地域に生育する。本県の生育地も石灰岩地に点在し、個体数も少ない。石灰岩の採石や観光開発により、生育地の減少が懸念される。

県内分布	石灰岩地域
分布域	四国,九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	石灰岩地域の林内や岩崖。
現状	石灰岩の採石現場、鍾乳洞などの観光地では、衰退した所がみられる。
備考	国定公園指定植物[日豊海岸, 祖母傾]

トリガタハンショウヅル

学名 *Clematis tosaensis* Makino

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

分布域が狭く、県内での生育地は「英彦山・犬ヶ岳山地」だけで、個体数も少ない。林縁に生えるため、植生遷移の進行による環境変化や樹木の伐採によって、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・大分)
世界的分布	
生育環境	低地から低山地の林縁。
現 状	明るい林縁に生えて林内での生育はよくない。花が目立つので採取されることがある。
備 考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

シロバナハンショウヅル

学名 *Clematis williamsii* A. Gray

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では石灰岩地に生育するつる植物で、個体数は少ない。生育地は日当たりの良い林縁に生えるため道路工事の影響を受けやすく、絶滅の危険性が高い。

県内分布	石灰岩地域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	石灰岩地域の林縁や林内。
現 状	生育地は石灰岩地に限られており、道路工事で消滅した所がある。
備 考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

ハイサバノオ

学名 *Dichocarpum dicarpon* (Miq.) W. T. Wang et Hsiao var. *decumbens* Tamura et Kosuge

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地,個体数ともに極めて少ない。溪流辺の陰地に生育するため大雨による出水による流失で,絶滅の危険性が高い。

県内分布	津江山地
分布域	四国?,九州(熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	低山地の溪谷沿い林縁。
現 状	生育地は,最近確認された。サバノオと混生しているが,個体数は僅少である。
備 考	

トウゴクサバノオ

学名 *Dichocarpum trachyspermum* (Maxim.) W. T. Wang et Hsiao

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

微少な植物で把握された生育地は極めて希で、個体数も少ない。溪流辺の岩上や林縁を生育地としているので、植生の遷移や出水による流失などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群, 祖母・傾山地
分布域	本州(宮城以南), 四国, 九州(福岡・熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	低山地の溪谷沿い林縁。
現 状	生育地の溪流辺がスズダケに覆われて森林化し, 岩上の一部にごくわずか生育している。
備 考	九州は分布の南限域にあたる。国立公園指定植物[阿蘇くじゅう]

ミスミソウ

学名 *Hepatica nobilis* Schreber var. *japonica* Nakai

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

渓谷沿いの自然林内や岩場に生え、生育面積、個体数ともごくわずかである。渓谷林の伐採の人による採取で、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の渓谷崖や林縁。
現 状	ごく限られた範囲の溪流辺岩上、林内にわずかな個体が生育している。どの生育地も絶滅寸前の状態である。
備 考	分布の南限域。国立・国定公園指定植物[瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]

ヤマシャクヤク

学名 *Paeonia japonica* (Makino) Miyabe et Takeda

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)



[選定理由]

県内の生育地は散在し、個体数は極めて少ない。森林の伐採や人による採取で、消滅する生育地が多くなり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の谷林内。
現状	山地帯の森林の伐採や林道などの開発, 人による採取で生育地が激減している。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ケナシベニバナヤマシャクヤク

学名 *Paeonia obovata* Maxim. f. *glabra* (Makino) Kitamura

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

四国を除く全国に分布するが、生育地は少ない。県内においても生育する範囲は狭く、個体数も少ない。森林伐採、植林地の間伐の遅れにより生育環境が悪化し、人による採取もあって、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州(北～中部), 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地の林内。
現 状	自然林のものは人による採取のため少なくなっている。明るいスギ植林地にも生育がみられるが、群生していた所はほとんど採取されている。
備 考	

オキナグサ

学名 *Pulsatilla cernua* (Thunb.) Spreng.

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：Ⅱ (VU)



[選定理由]

県内の草原に散在し、生育地は狭く、個体数は少ない。植生遷移の進行や人による採取で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	韓国(済州島), 中国
生育環境	低地から低山地の向陽草原。
現状	草原の森林化や人による採取によって、消滅した生育地がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 日豊海岸, 祖母傾]

ヒメバイカモ

学名 *Ranunculus trichophyllus* Chaix var. *kazusensis* (Makino) Wiegleb.

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

淡水の清流に生育する水生植物で、県内での生育地は極めて希。水の汚染や河川改修などにより、絶滅の危険性は極めて高い。

県内分布	豊後水道後背地域
分布域	北海道,本州,九州(熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低地の水溝や河川。
現 状	昭和30年代に「豊後水道域後背地域」の川で生育地が確認された。河川工事などもあり、年によりその消長が著しい。
備 考	

ミヤマカラマツ

学名 *Thalictrum filamentosum* Maxim. var. *tenellum* (H. Boiss.) Ohwi

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

深山に生育するので、人為的には被害を免れるが、個体数は少なく、生育地の植生遷移の進行による環境変化で、絶滅の危険性が高い。

県内分布	九重火山群,祖母・傾山地
分布域	北海道,本州,四国,九州(大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),ウズリー,南千島
生育環境	山地の林縁。
現状	植生遷移の進行により、衰退した生育地がある。
備考	国定公園指定植物[祖母傾]

ノカラムツ

学名 *Thalictrum simplex* L. var. *brevipes* Hara

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地、個体数はともに少ない。草原の改変や野焼きの停止による植生遷移の進行で、絶滅の危険性が高い。

県内分布	津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州,九州(佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部)
生育環境	丘陵地や低山地のやや湿った草地。
現状	植生遷移の進行で生育環境が悪化し, 消滅した生育地がある。
備考	大陸系遺存植物。

タマカラマツ

学名 *Thalictrum watanabei* Yatabe

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(祖母・傾山地)
分布域	本州(近畿地方), 四国, 九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	
現 状	「祖母・傾山地」の標本はあるが, その生育地は把握されていない。
備 考	

モミジカラマツ

学名 *Trautvetteria japonica* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 キンポウゲ科

科名学名 Ranunculaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

九州は分布の南限域。本県では「祖母・傾山地」にごく希に生育し、個体数も少ない。谷沿いに生育するため、大雨による流失や環境変化で、絶滅の危険性が高い。

県内分布	祖母・傾山地
分布域	北海道,本州(北～中部),四国,九州(大分・宮崎)
世界的分布	樺太,アムール,ウスリー,ウダ
生育環境	低山地の谷林内。
現状	やや明るく開けた沢沿いの岩盤上に群生しているが、生育範囲は狭く、生育地は極めて希である。
備考	北方寒冷地植物。国定公園指定植物[祖母傾]

オオバメギ

学名 *Berberis tschonoskyana* Regel

目名

目名学名

科名 メギ科

科名学名 Berberidaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域が偏在し、県内の生育地は点在していて個体数も少ない。低木のため、森林伐採や植生遷移の進行による環境変化が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群, (祖母・傾山地)
分布域	本州(関東・中部・近畿地方), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の林内。
現 状	「祖母・傾山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	

ルイヨウボタン

学名 *Caulophyllum robustum* Maxim.

目名

目名学名

科名 メギ科

科名学名 Berberidaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内の生育地は散在するが、個体数は少ない。植林や森林伐採により、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	中国, 朝鮮半島, 樺太, ウスリー, アムール
生育環境	低山地の谷沿いの林内。
現 状	森林伐採のため生育環境が変化して, 生育状態の衰退した所がみられる。
備 考	

イカリソウ

学名 *Epimedium grandiflorum* Morr.

目名

目名学名

科名 メギ科

科名学名 Berberidaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし



【選定理由】

九州では分布域が狭く、県内の生育地は局限されて個体数も少ない。生育地は土地開発や草地開発で改変され、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	九重火山群
分布域	北海道,本州,九州(熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	低山地の草原や林縁。
現 状	道路工事や土地開発で、消滅した生育地がある。
備 考	国立公園指定植物[瀬戸内海]。熊本ではヒゴイカリソウ (var. higoensis) とされている。

シオイカリソウ(ヒメイカリソウ)

学名 *Epimedium trifoliatobinatum* (Koidzumi) Koidzumi subsp. *maritimum* K.Suzuki

目名

目名学名

科名 メギ科

科名学名 Berberidaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)

NO IMAGE

[選定理由]

ヒメイカリソウとして早くから鶴見半島では知られていた。県内では海岸部を中心に分布し、その後背地域にも広がっている。生育地は限られ、植生遷移の影響で個体数が減少している。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域, 豊後水道後背地域
分布域	本州(中国地方), 四国, 九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	海岸路傍, 丘陵地。
現状	鶴見半島を中心に佐伯市上浦, 津久見市に多く生育が確認されているが, 年々個体数は減少気味である。
備考	

コウシュウウヤク

学名 *Cocculus laurifolius* DC.

目名

目名学名

科名 ツツラフジ科

科名学名 Menispermaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では「豊後水道域」のいずれも離島で生育しているが、生育地、個体数ともに少ない。離島振興などによる開発で森林が伐採される所が生じ、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	豊後水道域
分布域	九州(長崎・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国, 東南アジア
生育環境	離島の海岸の林縁や林内。
現状	自然林内に低木状で生育するため森林伐採による環境変化で、生育状態の悪くなった所がみられる。
備考	暖地植物。

ミヤコジマツツラフジ

学名 *Cyclea insularis* (Makino) Hatusima

目名

目名学名

科名 ツツラフジ科

科名学名 Menispermaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は極めて希で、占める面積は狭く、個体数も多くない。海岸の低木に巻き付いているため、その森林化の影響を受け、絶滅の危険性が高い。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(近畿南部, 中国西部), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾
生育環境	海岸崖地の林縁。
現状	海岸崖地の低木に巻き付いて群生するが、生育地は散在し、そのまよりは広くない。
備考	暖地植物。九州東海岸では極めて希な生育地である。

コウモリカズラ

学名 *Menispermum dauricum* DC.

目名

目名学名

科名 ツヅラフジ科

科名学名 Menispermaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

全国的に分布するが、県内の生育地は極めて少ない。刈払いや採草、植生遷移の進行などにより、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	日田低地・丘陵地, (津江山地), 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国(北部), 東シベリア
生育環境	低地から低山地の河床や林縁。
現 状	河川堤防や水田土手などに生育しているため、除草などの影響を強く受ける。「津江山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	

ナガミノツルキケマン

学名 *Corydalis ochotensis* Turcz. var. *raddeana* (Regel) Ohwi

目名

目名学名

科名 ケシ科

科名学名 Papaveraceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)

NO IMAGE

【選定理由】

本県では丘陵地や低山地に広く生育し、個体数も多い。路傍や林内に生えるため、採草や植生遷移の進行などによる影響が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 九州(福岡・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), アムール
生育環境	丘陵地や低山地のやや湿った路傍, 林縁。
現状	道路の拡幅や圃場整理工事などで消滅した所がある。
備考	

ヤマブキソウ

学名 *Hylomecon japonica* (Thunb.) Prantl

目名

目名学名

科名 ケシ科

科名学名 Papaveraceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし



[選定理由]

生育地は点在し、個体数も多くない。森林伐採や大雨による出水の影響を受けやすく、絶滅の危険性が高い。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	中国
生育環境	低山地谷沿いの林内。
現状	谷沿いの林内に点在し、いずれの生育地も個体数は多くない。
備考	

シコクハタザオ

学名 *Arabis serrata* Franch. et Savat. var. *sikokiana* (Nakai) Ohwi

目名

目名学名

科名 アブラナ科

科名学名 Cruciferae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域は狭く、九州は分布の南限域にあたる。県内の生育地は極めて希で、個体数も少ない。渓谷の崩壊やその防災工事などにより、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州(東海道, 近畿以西), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地から低山地の渓谷沿いの林縁。
現 状	生育地が渓谷沿いのため、崩壊したり流失したりして消滅した所がある。
備 考	九州は分布の南限域にあたる。

ユリワサビ

学名 *Eutrema tenuis* (Miq.) Makino

目名

目名学名

科名 アブラナ科

科名学名 Cruciferae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、個体数も少ない。林縁の生育地はしばしば人為により攪乱され、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地の林縁や林内。
現状	各地の個体数は極めて少なく, かつての生育地で現在確認されない所がある。
備考	

コイヌガラシ

学名 *Rorippa cantonoensis* (Lour.) Ohwi

目名

目名学名

科名 アブラナ科

科名学名 Cruciferae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 準 (NT)

NO IMAGE

【選定理由】

県内の分布域は限られており、生育地、個体数は僅少。道路計画に直面する生育地があり、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地
分布域	本州(関東以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	中国, 中国(東北部)
生育環境	低地のため池や水溝。
現 状	生育地が住宅地や水田周辺で、生育環境が不安定な所が多い。
備 考	

モウセンゴケ

学名 *Drosera rotundifolia* L.

目名

目名学名

科名 モウセンゴケ科

科名学名 Droseraceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

湿地に生育するが、開発行為や水環境の変化によって生育地が消滅し、生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	北半球亜寒帯～温帯
生育環境	丘陵地から山地の日当たりのよい湿地。
現状	湿地周辺では流れが変わったり, 著しく乾燥したりして消滅した所がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

チャボツメレンゲ

学名 *Meterostachys sikokianus* (Makino) Nakai

目名

目名学名

科名 ベンケイソウ科

科名学名 Crassulaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地はごく希で、個体数も少ない。環境の変化により、生育状態に消長がみられる。厳しい環境のため自然増殖は少なく、人による採取もあって、絶滅の危険性が高い。

県内分布	国東地区, 祖母・傾山地
分布域	本州(西部), 四国, 九州(福岡・長崎・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島(南部)
生育環境	丘陵地から山地の岩場。
現状	日当たりの良い平らな岩場に生育しているが、個体数は限られ、環境の変化で減少傾向にある。
備考	

ツメレンゲ

学名 *Orostachys erubescens* (Maxim.) Ohwi var. *japonicus* (Maxim.) Ohwi

目名

目名学名

科名 ベンケイソウ科

科名学名 Crassulaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)

NO IMAGE

[選定理由]

乾燥地の岩場や砂地に生育するが、生育環境の変化や人による採取で、生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	本州(関東以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 東亜
生育環境	低地や丘陵地の乾燥した岩場や砂地。
現状	乾燥に耐えるが、日陰や湿潤な環境になると生育は難しく、海岸部では環境変化や道路工事によって消滅した所がある。
備考	国定公園指定植物[耶馬日田英彦山]

イワレンゲ

学名 *Orostachys iwarenge* (Makino) Hara

目名

目名学名

科名 ベンケイソウ科

科名学名 Crassulaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

分布域は極めて狭い。県内の生育地は極めて希で、狭い範囲に密生している。人家近くに生えているため、生育地の改変や人による採取などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	本州(山口),九州(福岡・佐賀・長崎・大分)
世界的分布	
生育環境	低地の石垣。
現 状	生育地は極めて希で、しかも人家の石垣に生えており、人為による影響を受けやすい。
備 考	九州は分布の南限域にあたる。

メノマンネングサ

学名 *Sedum japonicum* Sieb.

目名

目名学名

科名 ベンケイソウ科

科名学名 Crassulaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は散在し、個体数はかなり多い。水田石垣や人里近い岩場にも生育するため、採草、採取などの人為による影響が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 大分川・大野川丘陵地
分布域	本州, 四国, 九州(佐賀・大分)
世界的分布	
生育環境	低地から山地の岩場。
現状	県北地方の凝灰岩の岩場に生え, しばしば低地の水田石垣や路傍などにも逸出している。
備考	

ウンゼンマンネングサ

学名 *Sedum polytrichoides* Hemsl.

目名

目名学名

科名 ベンケイソウ科

科名学名 Crassulaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

【選定理由】

分布域が狭いが、生育地となる凝灰岩は県北地方に比較的広く分布し、個体数もかなり多い。人が近づきやすい岩場の生育地では、人による採取が懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地
分布域	本州(西部),九州(佐賀・長崎・大分)
世界的分布	中国,朝鮮半島,中国(東北部),ウスリー
生育環境	丘陵地から山地の岩場。
現状	県北地方に分布する凝灰岩の岩場に広く生育し、個体数もかなり多い。
備考	大陸性遺存植物。九州は分布の南限域にあたる。葉の幅の狭い型(1~2mm)。国立・国定公園指定植物[瀬戸内海, 耶馬日田英彦山]

アオベンケイ

学名 *Sedum viride* Makino

目名

目名学名

科名 ベンケイソウ科

科名学名 Crassulaceae

カテゴリー 大分県：準 (NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

樹上や岩場に生え、生育範囲は広いが、樹木の伐採や自然災害による着生樹の生育状態の悪化が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 九重火山群, 大野川上流域
分布域	四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の樹上や岩場。着生樹は落葉広葉樹が多い。
現 状	老木や倒木に着生し、岩場にも生える。「津江山地」では、台風などによる着生木の倒木がみられる。
備 考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山]

ツシマンネングサ

学名 *Sedum yatabeanum* Makino

目名

目名学名

科名 ベンケイソウ科

科名学名 Crassulaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域が狭く、本県では主として国東半島に分布している。人の往来する岩場の生育地は、踏みつけや人による採取が懸念される。

県内分布	国東地区
分布域	本州(中国),四国(小豆島),九州(長崎・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の岩場。
現 状	「耶馬溪地区」の記録はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	葉の幅の広い型(2~4.5mm)。

アワモリショウマ

学名 *Astilbe japonica* (Morr. et Decne.) A. Gray

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内の生育地は南部地域に散在し、しばしば群生して個体数はかなり多い。河川工事や道路工事などの影響で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(近畿地方以西), 四国, 九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低地, 丘陵地や低山地の溪流辺。
現状	生育環境が改変されて, 消滅した所がある。
備考	

ツクシアカショウマ

学名 *Astilbe thunbergii* (Sieb. et Zucc.) Miq. var. *longipedicellata* Hatusima

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

九州内の熊本、大分、宮崎の各県の九州山地帯に分布し、県内では、「祖母・傾山地」で確認されている。生育地は限られ、個体数も少ない。人による踏みつけや、植生遷移などにより、絶滅が懸念される。

県内分布	祖母・傾山地
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	山地の林縁や草地。
現 状	「祖母・傾山地」の登山道沿いの林縁や溪谷沿いにわずかに生育している。
備 考	

ネコノメソウ

学名 *Chrysosplenium grayanum* Maxim.

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

生育地は点在し、生育範囲は狭い。溪流辺に生育するため、水環境の変化で生育状態に消長がみられる。しばしば水環境が悪化して衰退した生育地があり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 南千島
生育環境	丘陵地や低山地の溪流辺, 水溝。
現状	源流地域の生育地は比較的安定しているが, 人里近い水溝では, 生育状態の悪化した所がある。
備考	

オオコガネネコノメソウ

学名 *Chrysosplenium pilosum* Maxim. var. *fulvum* (Terracc.) Hara

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県: I A(CR) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

大分県の生育地は「大野川上流域」に限られ、個体数も極めて少ない。生育地が狭く、河川改修や植生の遷移の影響などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	大野川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地の湿った林縁。
現状	近くに農場もある小さな谷筋の半陰地を流れる狭い水路沿い林縁に生育している。
備考	

ツクシネコノメソウ

学名 *Chrysosplenium rhabdospermum* Maxim.

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は散在し、安定した溪谷沿いに生え、個体数はかなり多い。溪谷林の伐採や大水による生育環境の変化が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	四国,九州(佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の溪谷沿いの岩上や林縁。
現状	県北地域ではたびたびの大雨で、流失した生育地がある。
備考	

ギンバイソウ

学名 *Deinanthe bifida* Maxim.

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

溪谷沿いの林縁や林内に生え、生育地は散在して少ない。溪谷林の伐採や林道工事などで消失した生育地があり、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	津江山地, 九重火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	本州(関東以西), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の溪谷沿いの林縁, 林内。
現状	丘陵地の溪谷林が伐採され, 消滅した生育地がある。
備考	

コミノヒメウツギ

学名 *Deutzia gracilis* Sieb. et Zucc. var. *microcarpa* Hatusima

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

石灰岩地に生育し、分布域は狭く、個体数も少ない。石灰岩採掘や道路工事などで生育地の改変され、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	石灰岩地域
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の石灰岩地。
現 状	谷沿いの石灰岩地の林縁、崖などに生育し、生育地、個体数とも僅少である。
備 考	

キレンゲショウマ

学名 *Kirengeshoma palmata* Yatabe

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)



[選定理由]

分布域は狭く、本県での生育地は点在し、個体数は極めて少ない。森林伐採や出水による流失、人による採取もあって生育地が減少し、絶滅の危険性が高い。

県内分布	祖母・傾山地
分布域	四国,(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の溪谷沿いの林内や岩上。
現 状	大群生地もあったが土砂の流失で消滅した所もある。岩の割れ目などに根を張っているものが辛うじて残っている。
備 考	国定公園指定植物[祖母傾]

ツクシチャルメルソウ

学名 *Mitella kiusiana* Makino

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)

NO IMAGE

【選定理由】

分布域が九州の一部だけで狭く、本県では東部や南部地域に分布し、いずれの生育地も個体数が少ない。大雨による流失や土砂の埋没、損傷などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	豊後水道域, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 北川上流域
分布域	九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	溪谷沿いの湿った岩場。
現状	大雨の出水によって流失した生育地がある。
備考	国定公園指定植物[祖母傾]

コチャルメルソウ

学名 *Mitella pauciflora* Rosend.

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

本県の分布域は県西部地域に限られ、生育地は少なく、群生地面積も狭い。渓谷沿いの林縁を生息地とするため、植生の遷移や出水による流失などで、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 津江山地
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の溪流辺林縁, 林内。
現状	台風時の出水で消失した生育地が所々にみられる。
備考	

シラヒゲソウ

学名 *Parnassia foliosa* Hook. fil. et Thoms. var. *nummularia* (Maxim.) T. Ito

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

西南日本に分布し、九州では欠ける地方もある。本県では中部や西部地域の火山地帯に偏在し生育地は極めて少ない。湿地開発や人による採取で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 由布・鶴見火山群, 九重火山群
分布域	本州(中～西部), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や山地の湿地。
現状	近年は、観光開発による土地改変が著しく、生育地が減少している。
備考	国立公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海]

ウメバチソウ

学名 *Parnassia palustris* L.

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

氷期に南下して日本全土に広く分布し、本県においてもほぼ全域に分布している。草原の森林化や人工牧野への改変、人による採取などが懸念される。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	北半球温帯～亜寒帯
生育環境	低地から低山地の草地。
現状	生育地の草原は野焼きの停止などで森林化し, あるいは人工草地へ改変され, 人による採取もあって, 生育地の減少している所が多い。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ワタナベソウ

学名 *Peltoboykinia watanabei* (Yatabe) Hara

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：Ⅱ (VU)

NO IMAGE

【選定理由】

四国、九州に分布域が限られている。本県では「祖母・傾山地」のほか「由布・鶴見火山群」、「九重火山群」などの谷林内にも生育する。森林伐採や入山者の踏みつけ、人の採取による、生育地の減少が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	四国,九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の谷林内。
現状	森林伐採や植生遷移で生育環境が変化して、衰退した所や、人により採取された所がある。
備考	ソハヤキ要素の植物。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]

タコノアシ

学名 *Penthorum chinense* Pursh

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： 準 (NT)



[選定理由]

県内では生育地は点在するが、しばしば群生することがある。生育地の水溝や湿地の埋立、河川の改修や洪水などで生育環境が変わり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地, 別府湾沿岸域, 豊後水道域, 大野川上流域
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 中国(東北部), ウスリー, 東シベリア
生育環境	低地や丘陵地の水溝や湿地, 河川の低水敷。
現 状	農地の圃場整備による水溝の改変や湿地の埋立, 護岸や河床整備などの河川改修, 大水による流失などで, 消滅した生育地がある。
備 考	

ヤシヤビシヤク

学名 *Ribes ambiguum* Maxim.

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)



【選定理由】

北海道，沖縄を除く広い分布域をもつが，本県では比較的生育地は狭い。ブナ林の伐採や林道開発，台風による着生樹の枯死などにより生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区，英彦山・犬ヶ岳山地，日田低地・丘陵地，津江山地，九重火山群，大野川上流域，祖母・傾山地，北川上流域
分布域	本州，四国，九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の林内の樹上。
現 状	多くはブナの古木にできたくぼみに生育しているが，点在して個体数も少ない。しばしば着生木の倒木がみられる。
備 考	

ケナシヤシャビシヤク

学名 *Ribes ambiguum* Maxim. var. *glabrum* Ohwi

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：準 (NT)



【選定理由】

北海道，沖縄を除く広い分布域をもつが，本県では比較的生育地は狭い。ブナ林の伐採や林道開発，台風による着生樹の枯死などにより生育地の減少が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区，英彦山・犬ヶ岳山地，日田低地・丘陵地，津江山地，九重火山群，大野川上流域，祖母・傾山地，北川上流域
分布域	本州，四国，九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の林内の樹上。
現 状	多くはブナの古木にできたくぼみに生育しているが，点在して個体数も少ない。しばしば着生木の倒木がみられる。
備 考	

ヤブサンザシ

学名 *Ribes fasciculatum* Sieb. et Zucc.

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内での生育地は極めて少なく、生育地の面積も狭小で、個体数も少ない。森林伐採や土地改良などによって、絶滅する危険性が高い。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 豊後水道後背地域, 石灰岩地域
分布域	本州(中部地方以西), 四国, 九州(熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地の林縁や林内。
現 状	各生育地も生育範囲が狭小で、個体数も極めて少ない。森林化の進行によって衰退する傾向がみられる。
備 考	

ダイモンジソウ

学名 *Saxifraga fortunei* Hook. fil. var. *incisolobata* (Engler et Irmsch.) Nakai

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内では生育地は点在し、湿気のある岩上に群生する。林道開発や森林の伐採、人による採取もあって、絶滅の危険性が高い。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	南樺太, 南千島, 中国
生育環境	低山地や山地の湿気ある岩場。
現状	自然林の伐採, 林道の開発で, 生育地が減少している所がみられる。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ウチワダイモンジソウ

学名 *Saxifraga fortunei* Hook. fil. var. *obtusocuneata* (Makino) Nakai

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内での生育地は希で、個体数は極めて少ない。森林の伐採や林道開発、人による採取で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	山地帯, 谷の湿った岩上。
現状	ごく最近, 「祖母・傾山地」, 「北川上流域」両地域で生育地が確認された。
備考	

ナメラダイモンジソウ

学名 *Saxifraga fortunei* Hook. fil. var. *suwoensis* Nakai

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

全国的に分布域は限られており、県内の生育地は西部地域に偏在し、極めて少ない。道路開設や河川工事、人による採取などで、絶滅の危険性が高い。

県内分布	耶馬溪地区,津江山地
分布域	本州(山口),九州(福岡・佐賀・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の溪流沿いの岩場。
現状	「耶馬溪地区」では道路工事のため、生育地の消滅した所がある。
備考	

クロクモソウ

学名 *Saxifraga fusca* Maxim. var. *kikubuki* Ohwi

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内での生育地、個体数とも少ない。森林の伐採や林道開発,人による採取もあって、生育地の減少が懸念される。

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地), 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(北～中部), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地や山地の溪流岩上。
現状	森林伐採や林道開発で生育地が減少している。「英彦山・犬ヶ岳山地」の記録はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	異名ナンゴククロクモソウの基準標本産地[犬ヶ岳]。文献[原寛;ユキノシタ科 大日本植物誌(1939)]。国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

センダイソウ

学名 *Saxifraga sendaica* Maxim.

目名

目名学名

科名 ユキノシタ科

科名学名 Saxifragaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: II(VU)



[選定理由]

生育地、個体数とも極めて僅少。溪流辺や水が落下する断崖に生育しているため、出水による流失や人による採取で、絶滅の危険性が高い。

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地), 祖母・傾山地
分布域	本州(紀伊半島), 四国, 九州(大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低山地の溪流辺や断崖。
現状	「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備考	ソハヤキ要素の植物。

コウヤミズキ

学名 *Corylopsis gotoana* Makino

目名

目名学名

科名 マンサク科

科名学名 Hamamelidaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地が極めて限られていて個体数も少ない。溪流辺の開発や山腹斜面の崩壊などにより、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	本州(中～西部),四国,九州(熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地のやや湿った溪流辺。
現状	生育地が溪谷辺で崩落があり、また、キャンプ場施設ができて人の往来が激しくなり、伐採された所もあって、個体数が減少している。
備考	

チョウセンキンミズヒキ

学名 *Agrimonia coreana* Nakai

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)

NO IMAGE

[選定理由]

北海道, 本州, 四国, 九州に分布しているが, 大分県では「由布・鶴見火山群」で生育が確認された。大陸系の植物ともみられ, その生育地の意味あいは大きい。永続して生育できるよう保護, 保全することが必要である。

県内分布	由布・鶴見火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), ウスリー
生育環境	火山及び周辺地の, やや湿り気のある疎林内や林縁。
現状	「由布・鶴見火山群」の登山路沿いや林縁の明るい草地で, 数か所の生育地が確認されている。
備考	

クサボケ

学名 *Chaenomeles japonica* (Thunb.) Lindl. ex Spach

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

分布域が狭く、本県での生育地も火山性高原や火山山頂帯に集中している。生育地での草地開発、植林や放牧の停止などによる植生遷移の影響が懸念される。

県内分布	玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地
分布域	本州,九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	低山地や火山山頂帯の草原や林縁。
現状	牧野開発のため生育地が減少した所がみられ,かつての放牧地が放置されて植生遷移が進み,生育状態が悪くなった生育地がある。
備考	久住地方ではタケウメと呼び,実を果実酒に用いる。

シモツケソウ

学名 *Filipendula multijuga* Maxim.

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

県内の分布域は狭く、湿地やその周辺地に生育する。林縁の生育地は植生遷移の進行により生育状態に消長がみられ、開花期は人目につきやすいため、人による採取も懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 玖珠丘陵地・山地, 九重火山群, 由布・鶴見火山群, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域
分布域	本州(中部以西), 四国, 九州(福岡・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	丘陵地や低山地の湿った草地や林縁。
現状	林縁の生育地では森林化して、生育状態が衰退した所がある。
備考	

ツクシカイドウ

学名 *Malus hupehensis* (Pampan.) Rehder

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県：野生絶滅(EW) 環境省：野生絶滅(EW)

NO IMAGE

[選定理由]

生育地とされた丘陵地は、切り開かれて消滅した。周辺地での生育地は確認されず、絶滅したものと考えられる。

県内分布	(中津・宇佐低地)
分布域	九州(熊本・大分)
世界的分布	中国、ヒマラヤ
生育環境	(不明)
現状	1920年, 1930年に, 「中津・宇佐低地」(中津市大貞)で採集された標本がある。
備考	ツクシカイドウは, ズミ(<i>Malus toringo</i>)と同種とする説がある。ズミは「日田低地・丘陵地」, 「玖珠丘陵地・山地」に生育地がある。

ズミ

学名 *Malus toringo* (Sieb.) Sieb. ex Vriese

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし



[選定理由]

九州では北部に偏り,本県の分布域は狭く,生育地,個体数とも極めて僅少。生育地はいずれも人里近くにあつて,土地改変や植林管理などにより,絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	日田低地・丘陵地, 玖珠丘陵地・山地
分布域	北海道,本州,四国,九州(福岡・佐賀・大分)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	低地や丘陵地の林縁。
現状	「日田低地・丘陵地」の生育地は, 谷間の湧水湿地でため池とスギ植林地と接し,「玖珠丘陵地・山地」の生育地は, 丘陵地の尾根筋でクヌギ植林地内にあつて道路と接している。
備考	

オオウラジロノキ

学名 *Malus tschonoskii* (Maxim.) C. K. Sehneid.

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(九重火山群)
分布域	本州,九州(大分)
世界的分布	
生育環境	低山地の林内。
現 状	県内生育地は九州唯一の生育地である。確認された生育地は道路により掘削されて消滅し、現在、他の生育地は確認されていない。
備 考	本県は分布南限域。

カワラサイコ

学名 *Potentilla chinensis* Ser.

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、個体数も少ない。生育地の植生遷移の進行や土地改変などで、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	姫島・国東海岸, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, 大野川上流域
分布域	本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国, 台湾, アムール, ウスリー
生育環境	海岸の砂地や低地の空き地。
現状	生育地が狭められたり, 環境が悪化して, 生育状態が衰退した所がみられる。
備考	

イワキンバイ

学名 *Potentilla dickinsii* Franch. et Savat.

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は火山山頂帯や山地の岩場に点在し、個体数は少ない。植生遷移の進行や岩場の崩落、登山者の踏圧などで、生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	
生育環境	火山山頂帯や山地の岩場。
現状	森林化による植生遷移や崖の崩壊, 登山者による踏圧などで, 個体数が減少している。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 瀬戸内海, 祖母傾]

ツチグリ

学名 *Potentilla discolor* Bunge

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: IB(EN)

NO IMAGE

【選定理由】

全国的に分布域が狭い。本県でも北部地域に偏在し、個体数は極めて少ない。草地開発や道路工事により、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 中津・宇佐低地, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域,
分布域	本州(近畿),九州(福岡・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島,ウスリー,アムール,台湾,中国,中国(東北部)
生育環境	丘陵地の草地や岩場。
現状	草原に道路がつくられて絶滅した所や池畔工事で生育状況が悪化した所がある。
備考	

ツルキジムシロ

学名 *Potentilla stolonifera* Lehm.

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地,個体数ともに少ない。山頂帯付近の生育地は,植生の遷移や登山者の踏圧などにより,生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 九州(大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	千島, 樺太, カムチャッカ
生育環境	火山山頂帯や山地の草地や林縁。
現 状	山頂帯や登山路沿いの生育地は, 植生遷移の進行や登山者による踏圧で生育状態が悪化している所がある。
備 考	北方寒冷地要素の植物で, 九州は分布の南限域にあたる。

キンキマメザクラ

学名 *Prunus incisa* Thunb. subsp. *kinkiensis* (Koidzumi) Kitamura

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

2004年に「由布・鶴見火山群」の湖岸林で発見された。九州本島では長崎県と大分県だけで生育が確認されている。生育地が局限されており、個体数も少なく、絶滅の危険性が高い。

県内分布	由布・鶴見火山群
分布域	本州,九州(長崎・大分)
世界的分布	
生育環境	丘陵地の林縁や林内。
現状	林縁や林内などに生育している。個体数は極めて少ないが、実生による稚樹も確認されている。
備考	マメザクラの亜種とされている。

カスミザクラ

学名 *Prunus verecunda* (Koidzumi) Koehne

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

九州では長崎県の対馬と大分県「由布鶴見火山群」の別府市だけで生育地が確認されている。別府市の森造りのため樹木を伐採した際にも、カスミザクラは残されてきた。また、市の保護樹にも指定されている。しかし実生による稚樹は少なく、個体数が限られているため、絶滅の危険性が依然として高い。

県内分布	由布・鶴見火山群
分布域	北海道,本州,四国,九州(長崎・大分)
世界的分布	朝鮮半島,中国
生育環境	丘陵地の林縁や林内。
現状	ヤマザクラよりも開花期が10日ほど遅れ、カスミザクラの開花時期にはソメイヨシノやヤマザクラなどの花は散ってしまっているため、確認は容易である。別府市の丘陵地一带に分布し、現在、24樹が確認されている。
備考	別府市の指定保護樹

ミヤマウラジロイチゴ

学名 *Rubus idaeus* L. subsp. *nipponicus* Focke

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(九重火山群)
分布域	本州(北～中部),九州(大分)
世界的分布	
生育環境	
現 状	「九重火山群」で採集されたが、その後、生育状態は把握されていない。
備 考	

クロイチゴ

学名 *Rubus mesogaeus* Focke

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: II (VU) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

生育地が限られ、個体数も少ない。植生遷移の進行により減少傾向をたどっており、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(大分)
世界的分布	台湾, 中国
生育環境	低地や山地の林縁。
現 状	低木のため, 植生遷移の進行により他の植物に被圧され, 減少傾向にある。
備 考	

コジキイチゴ

学名 *Rubus sumatranus* Miq.

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は点在し、個体数は少ない。林縁に生育するため植生遷移の進行や人為による影響で、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 北川上流域
分布域	本州(東海・近畿地方), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 台湾
生育環境	低地, 丘陵地から低山地の林縁。
現状	生育地が林縁のため, 草刈りで消滅した所がある。
備考	基準標本産地[英彦山]

ゴシヨイチゴ

学名 *Rubus tanakae* O. Kuntze

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地), (豊後水道後背地域)
分布域	本州(山口), 四国, 九州(福岡・熊本・大分)
世界的分布	中国
生育環境	丘陵地の尾根沿いの林縁。
現状	「豊後水道後背地域」の生育地は現在まで把握されておらず, 「英彦山・犬ヶ岳山地」の生育地でも, その生育が確認できなくなった。
備考	基準標本産地[彦岳]

ナガボノシロワレモコウ

学名 *Sanguisorba x tenuifolia* Fisch. ex Link var. *parviflora* Maxim.

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

生育地は極めて希。生育する範囲は極めて狭い。低地や高原の生育地は土地開発などで著しく減少し、消滅の危険性が高くなっている。

県内分布	中津・宇佐低地, 九重火山群
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 極東地方
生育環境	低地や低山地の湿地。
現状	「九重火山群」の良好な生育地が, 畑地に開発されて消滅してしまった。
備考	自然雑種ともされる。北方寒冷地要素の植物で, 九州は分布の南限域にあたる。

イワガサ

学名 *Spiraea blumei* G. Don

目名

目名学名

科名 バラ科

科名学名 Rosaceae

カテゴリー 大分県: 情報不足 (DD) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地)
分布域	本州(近畿以西), 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	
現 状	「英彦山・犬ヶ岳山地」の標本はあるが、その生育地は把握されていない。
備 考	国立公園指定植物[瀬戸内海]

ハカマカズラ

学名 *Bauhinia japonica* Maxim.

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

県内分布は限られ、島に点在する。生育地、個体数とも僅少で、植生遷移の進行による環境変化で、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(和歌山),四国,九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島),沖縄
世界的分布	
生育環境	海岸の林縁や林内。
現 状	「豊後水道域」のごくわずかな島以外ではみられない。
備 考	

ミヤマトベラ

学名 *Euchresta japonica* Hook. fil.

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

保存のよい常緑樹林の林内や谷に近い林縁に点在し、個体数は多くない。環境の変化に弱いため、森林伐採や林内の攪乱などで、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, 豊後水道後背地域, 北川上流域
分布域	本州(関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の常緑樹林内。
現状	社叢の林床や保存の良い常緑樹林内に生育し、林縁では消滅した所がある。
備考	

サイカチ

学名 *Gleditsia japonica* Miq.

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

【選定理由】

生育地は点在し、個体数は極めて少ない。河岸、溪流辺のものは水害や河川改修、伐採などにより、生育地の消滅が懸念される。

県内分布	耶馬溪地区, (中津・宇佐低地), 日田低地・丘陵地, 由布・鶴見火山群, 別府湾沿岸域, (大野川上流域)
分布域	本州(中～南部), 四国, 九州(福岡・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	
生育環境	低地や丘陵地の川原や林縁。
現状	「中津・宇佐低地」, 「大野川上流域」で採集された標本はあるが, その後, その生育状態は把握されていない。
備考	「日田低地・丘陵地」のものはトゲナシサイカチ(<i>f.inermis</i>)。

チョウセンニワフジ

学名 *Indigofera kirilowii* Maxim.

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I A (CR)

NO IMAGE

[選定理由]

分布域は極めて狭く、本県での生育地は極めて希で、個体数も少ない。尾根沿いの林内に生えて、生育状態は悪く、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	九州(熊本?・大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国(東北部), 中国(北部)
生育環境	丘陵地の尾根の疎林内。
現 状	凝灰岩岩場の尾根疎林内に小面積に生育し、乾燥がひどく、生育状態はよくない。
備 考	大陸系遺存植物。九州は分布の南限域にあたる。

レンリソウ

学名 *Lathyrus quinquenervius* (Miq.) Litv. ex Komarov et Klob-Alisova

目名

目名学名

科名 マメ科

科名学名 Leguminosae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし



[選定理由]

県内の生育地は極めて少なく、個体数は僅少である。土地の改変や野焼きの停止による植生遷移の進行,人による採取などで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群
分布域	本州,九州(佐賀・熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島,中国(東北部),中国,ウスリー,アムール
生育環境	丘陵地や低山地の草地。
現状	植生遷移の進行や人による採取で、消滅した生育地がある。
備考	